

# 学生のキャリアレジリエンスと親の養育態度の関連

児玉真樹子 (広島大学)

キーワード：キャリアレジリエンス，養育態度

## 目 的

本研究では学生を対象に，“キャリア形成を脅かすリスクに直面した時，それに対処してキャリア形成を促す働きをする心理的特性”と定義されるキャリアレジリエンス (児玉, 2015) と，児童期の両親の養育態度の関連を検討する。

## 方 法

学生 (短期大学生，大学生，大学院生) を対象に，2019年2月にWeb調査を実施した。調査実施にあたり，調査への回答は任意であることを伝えた。回答に不備がない286名分 (男子139名，女子147名。平均年齢21歳) のデータを用いて分析した。調査内容は，学生用キャリアレジリエンス尺度 (児玉, 2017)，肯定的・否定的養育行動尺度 (伊藤他, 2014) であった。前者は調査時点での回答者本人の状態を，後者は児童期における回答者の父親・母親の示していた態度・行動について尋ねた。いずれも4段階評定で回答を求めた。

## 結果と考察

キャリアレジリエンスの各構成要素は，問題対応力，ソーシャルスキル，新奇・多様性，未来志向，援助志向であり，各々の $\alpha$ 係数を算出したところ，いずれも.70以上であった。養育態度については，関与・見守り，肯定的応答性，意思の尊重，過干渉，非一貫性，厳しい叱責・体罰から成るため，父親，母親それぞれの各因子の $\alpha$ 係数を算出したところ，父親，母親共に過干渉因子の $\alpha$ 係数の値が.70未満と低かった。そのため過干渉因子は分析から除外した。

男女別にみた父親・母親の養育態度，キャリアレジリエンスの得点はTable 1のとおりとなった。

分散分析の結果，いずれの養育態度も母親の得点の方が父親より有意に高かった。また関与・見守りと肯定的応答性は交互作用がみられ，父親では男女に有意差がなかったが，母親では男子より女子の得点の方が有意に高かった。キャリアレジリエンスについては， $t$ 検定の結果，援助志向について女子の得点の方が男子より有意に高かった。

父親，母親それぞれの養育態度を説明変数，キャリアレジリエンスの各構成要素を目的変数とした重回帰分析 (ステップワイズ法) を男女別に行った。その結果，Table 2のとおりとなった。この結果より，父親，母親の肯定的応答性や意思の尊重，母親の関与・見守りがキャリアレジリエンスを促進することが判明した。一方，養育態度の非一貫性は，父親の場合はキャリアレジリエンスに負の影響を示すが，母親の場合は正の影響を示すという一貫しない結果となった。

Table 1 男女別にみた各要素の平均と標準偏差

		男子(N=139)		女子(N=147)	
		M	SD	M	SD
関与・見守り	父親	2.52	0.62	2.47	0.74
	母親	2.94	0.65	3.31	0.62
肯定的応答性	父親	2.81	0.67	2.92	0.78
	母親	3.08	0.64	3.36	0.62
養育態度	意思の尊重	2.88	0.53	2.93	0.74
	非一貫性	2.95	0.62	3.11	0.68
厳しい叱責	父親	2.18	0.65	2.10	0.86
	母親	2.26	0.71	2.25	0.79
問題対応力	父親	2.25	0.67	2.13	0.85
	母親	2.39	0.70	2.29	0.82
キャリアレジリエンス	ソーシャルスキル	2.64	0.61	2.75	0.62
	新奇・多様性	2.23	0.68	2.38	0.64
未来志向	援助志向	2.84	0.64	2.86	0.58
	未来志向	2.49	0.70	2.51	0.65
援助志向	援助志向	2.91	0.65	3.11	0.59

Table 2 重回帰分析の結果

	問題対応力		ソーシャルスキル		新奇・多様性		未来志向		援助志向	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
父親	関与・見守り									
	肯定的応答性					.22 **		.24 **		
	意思の尊重	.30 ***								
	非一貫性		-.22 **						-.17 *	-.37 ***
	厳しい叱責									
母親	関与・見守り			.37 ***			.22 **		.27 **	
	肯定的応答性		.24 **			.29 ***		.22 *		.18 *
	意思の尊重			.24 **						
	非一貫性			.23 **						.25 **
	厳しい叱責									
$R^2$	.09 ***	.14 ***	.08 **	.13 ***	.09 ***	.05 **	.05 **	.15 ***	.11 ***	.17 ***
Adj $R^2$	.08 ***	.13 ***	.07 **	.13 ***	.08 ***	.04 **	.04 **	.13 ***	.10 ***	.15 ***

注1. 男子139名，女子147名

注2. \*\*\* $p < .001$ ，\*\* $p < .01$ ，\* $p < .05$